



デジタル版で連合教育会から発信いたします

今年度から本会では、会誌「下野教育」が年2回の発行になったことを機に、デジタル版で事業報告や教育情報等を発信することといたしました。今年度は、7月・9月・11月・1月の15日を目安に年4回、発行する予定です。また内容によっては号外も発行いたします。

どうぞ気軽に目を通していただき、連合教育会についてより身近に感じていただくとともに、日頃の教育に生かしていただければありがたいと思います。



実践研究奨励援助事業について

令和8年度の本事業に関する募集については、これまでに本年度の応募・審査が完了し、審査結果につきましては令和8年5月28日付、各応募校に通知しました。

1 令和8年度の応募状況

本年度の各研究部門の応募件数は、「学校課題研究」が11件、「グループ・個人研究」が7件でした。

2 審査及び採用の決定について

本会々長及び常務理事等で審査委員会を編成し、提出された研究計画書等を審査・審議し、令和8年5月下旬に採用校を決定いたしました。本年度の各研究部門の採用件数は、「学校課題研究」が10件、「グループ・個人研究」が6件でした(採用の園・学校については、本教育会のHPに掲載いたします)。

3 研究奨励金の贈呈

実施要項に基づき、表彰式は実施しません。今月中に、研究奨励金は採用の学校に送金する予定です。なお、令和8年度採用の16件に贈呈する奨励金の総額は88万円となります。

4 研究完了報告書、研究のまとめの提出

今年度採用された研究については、令和9年3月1日から4月30日までの間に、「研究完了報告書(様式2)」「研究のまとめ(様式3)」を提出していただくことになります。

5 研究成果の発表

「研究のまとめ」については、本会のHPに掲載する予定です。平成30年度以降は、本会HP「お知らせ・新着情報一覧」に掲載しています。ダウンロードも可能です。

質の高い探究的な学びに関する研究部会について

本研究部会は、令和8(2026)年度～令和10(2028)年度の3年計画で、各教科や総合的な学習(探究)の時間において、ICT(情報通信技術)を活用するなど、質の高い探究的な学びに関する研究を通じて、児童生徒の知識・技能や思考力・判断力・表現力等の伸長はもとより、学びに向かう力・人間性等の涵養を目的として実施しております。

宇都宮大学共同教育学部 助教 石島 隆志 先生を部会長として、栃木県教育委員会・栃木県総合教育センターの指導主事4名に指導助言者として、小学校4名、中学校3名、高等学校2名、特別支援学校2名の計11名を研究委員として取り組んでおります。

特に、本年度の部会は年間4回(第2回目以降はWebによる)開催し、「質の高い探究的な学びについての背景、歴史、全体像等、基本的な事項や質の高い探究的な学びと学校教育との関わり、教育課程への位置づけ」や「主体的・対話的で深い学びを基礎として、ICT(情報通信技術)などを活用しながら、個別最適な学び・協働的な学びにつなげられているか、質の高い探究的な学びの取組に関する研究を目指した授業実践」などについて検討・協議するとともに、各学校を対象とした探究的な学びに関するアンケート調査を実施・分析する予定です。



第1回研究部会(R8. 5. 29)の様子



連載(コラム)コーナー

【筆から鉛筆、そして ICT へ】

宇都宮大学共同教育学部助教 石島 隆志

学校で使う「学びの道具」は、時代とともに変化してきました。かつて、文字を書く道具の中心だった「筆」は、書いた字を簡単には消すことができず、一字一字に慎重さや緊張感が求められます。一方、「鉛筆」で書いた文字は書き直すことができます。今では当たり前となった「鉛筆」も、学校教育に広まり始めた当時は、その利便性を評価する考えと、「筆」の精神性を重んじる考えとの間で議論がありました。そして現在、学校には「ICT」が導入され、文字だけでなく、画像や音声を用いて考えを表現したり、それをリアルタイムで共有したりできるようになりました。

新しい道具や考えが登場すると、期待とともに「これまでの学びのよさが失われるのではないか」という戸惑いも生まれます。大切なのは、古いか新しいかを選ぶことではありません。それぞれのよさと制約を知り、子どもにどのような思考や表現を促したいのかに応じて使い分けることです。「学びの道具」が変わるとき、授業の「当たり前」も変わります。今こそ、子どもたちの学びにとって本当に大切なことを見つめ直す絶好のチャンスです。

【その姿の背後にあるもの】

宇都宮市教育センター 学校生活適応支援アドバイザー
(臨床心理士・元小学校長) 大瀧 伸一

「良い子悪い子普通の子」と聞くと、往年の人気番組を思い出す人もいると思いますが、子どもを「手のかからないできた子(良い子)、何かと手のかかる困った子(悪い子)、どちらでもない普通の子」に内心分けて見ていることはないでしょうか。何を隠そう、中学生を担任していた若い頃の私はそうでした。

子どもの行動・表情・態度には、生まれもった特性や育ちの環境、とりわけ人的な環境が及ぼす影響が色濃く映し出されるものです。どちらも子どもに選択の余地はありません。不適切な行動の責任を、どこまでその子自身に負わせて指導して良いものか、悩ましいところです。

なぜ今この姿なのか。そうしてしまう子ども側の事情があるはず・・・その子がここまで歩んできている「育ちの物語」に思いを馳せるプロセスを大事にしたい、常々そう思っています。

4月からこれまでの連合教育会の動き

4/16 「夏友」編集委員会役員会	6/6 精神医学特別講座
4/22 整備点検	6/8 定時評議員会・第2回理事会
5/8 「下野教育」専門編集委員会	6/12 第1回「夏友」編集委員会
5/18 第1回理事会	6/16 第1回地区教育会事務局長会
5/20 整備点検	6/20 不登校セミナー
5/25 第1回地区教育会長会	6/27 発達障がいセミナー
5/29 質の高い探究的な学びに関する研究部会	7/1・7 整備点検

【お知らせ】

◎「学校管理運営問答集第19集」を発行しております。令和5年3月に改訂され、様々な諸問題や諸課題に対して、法的根拠を分かりやすく解説しています。価格は、本会会員は1冊 2,000円
会員以外及び団体として購入する際は 1冊 2,500円です。

申込・問い合わせは(一財)栃木県連合教育会 研究担当まで。(TEL 028-621-7216)

◎教育会館の利用について

皆様のご利用をお待ちしております。(学校・保育園・幼稚園、教育関係団体は3割引)(学校行事での平日利用は4割引) 問い合わせは(一財)栃木県連合教育会 会館運営担当まで。(TEL 028-621-7177)

◎連合教育会の入会について

入会されていない方は、随時入会が可能ですので担当までご連絡ください。

申込・問い合わせは(一財)栃木県連合教育会 総務担当まで。(TEL 028-625-5228)

【編集担当者から皆様へ】

〈連合教育会ホームページ〉

6月には、台風が来たりクマ騒動があったりと大変だったことと思います。夏休みは、心も体も少しゆっくりしましょう!!

次号は9/15発行の予定です。よろしくお願いいたします。
なお、この「連合教育会NEWS」は、右記にありますQRコードから連合教育会ホームページでもご覧いただけます。

